

土居中学校制服改定に係る小・中PTA会長連絡会 記録（抜粋）

- 1 日 時 令和3年10月26日（火）19:00～20:00
- 2 場 所 土居中学校 会議室
- 3 参加者 土居地域小学校PTA会長・副会長5名、土居中学校PTA会長
土居中学校校長・教頭・生徒指導主事・生徒会担当
- 4 協 議

(1) 校長挨拶

土居中学校は、人権・同和教育を基盤に、教育目標を「土居中魂」とし、“命や人”を大切にす
る教育を推進している。近年、生徒から「性の多様性に関する学習をしたい」、それに関連し「制
服の改定」との要望が出された。これは人権・同和教育の成果と考え、教職員や校則検討委員会
で検討を続け、制服改定に着手することを決定した。しかし、ただ制服を変えればよいというも
のではなく、想定される諸問題解決について話し合いを行っている。また、性をはじめ多様性を認
め合える集団づくり、仲間づくりに取り組んでいる最中でもある。在校生は、自分自身が新制服
を着用するわけではないが、この改定により、これから土居中に入学してくる後輩たちが不安な
く学校に来ることができるよう、同時に自分たちがより安心して生活できるようにとの思いで取
り組んでいる。ぜひ、忌憚のないご意見をお願いしたい。

(2) 取組の概要説明（土居中）

学級の様子はどうか、自分は多様性の受け止めができるかなど話し合いをし、制服改定に向けて
動き出している。まずは、教員からということで性的マイノリティについて研修を行った。そし
て、9月に校長から全校生徒に話をし、性の多様性に関する参観授業も行った。現在、保護者
の方にも啓発を進めている。生徒も、制服改定のクラスミーティングに向けて生徒評議会や話し
合いを重ねている。生徒から出た意見をもとに、職員会で協議し、各業者に見本を作ってもらい、さ
らに話し合いを重ねていく。取組や今後のことについて、ご意見をお願いしたい。

(3) 意見交換（小P：小学校PTA役員、中P：中学校PTA会長、中教：中学校教員）

① これまでの取組に対する質問

- ・ 保護者の方や生徒は制服改定に賛成しているのか？（小P）
→ 制服検討委員会の中で時期尚早ではないかという意見もあったが、土居中の今後の発展に必
ずつながるという信念を持って取り組んでおり、協力をお願いしている。「多様性」という観点
に加え、「機能性」、「防寒対策」などにも着目して進めている。値段も今と変わらないよう保護
者に金銭的負担を掛けないように、メーカーと相談する。（中教）
- ・ 目的として、「ジェンダーレス」を軸にしているのか？いきなり新制服にするのか、先に教育
で進めるべきでないか？生徒の意識は？変えるなら早く変えないと、今の生徒はどうなのか？
そのあたりについて学校はどう考えているのか。（小P）
→ 防寒対策など、他の視点もあったほうが、自分のこととして考えやすい。（小P）
→ 特定の誰かだけが幸せになるのではなく、みんなが幸せに過ごせるようにという思いで取り
組んでいる。（中教）

- 学習に踏み切ったということは、カミングアウトがあるかもしれないと考え、対応できる状況でないといけない。現時点では個別対応である。教員も学びを進めている。(中教)
- 自分のこととして考え、意識が高い生徒が多い。学級文庫に置いている関連した本を手にとっている生徒もいる。子どもの方が柔軟に学習していけるのではないかと感じる。(中教)
- ・ 制服改定は自然な流れだと思う。個々のことを考えるなら、制服をなくすという方法もあるのではないかと考えた。制服の意味は何なのかなと思った。(小P)
- 制服は必要だと思う。貧富の差が出てはいけない。今の制服の評判がいいのであれば、この制服のデザインをあまり変えずに作れたらいいのではないか。(小P)
- 実用性を考えた制服にしてほしいという生徒の意見もある。女子はずっと同じで制服だし、寒暖の調節が難しいのが問題なのではないか。(中P)

② 実際に、改定するうえでの問題点やデザインに関する意見

- ・ どれだけ着たい制服ができて、着られる環境がないと着ることができない。制服が変わっても、言いたくない生徒は着にくい。言わなくても自然に好きなデザインを選べるのがいいのではないか。ズボンもはくけどスカートも選択できるデザインがいい。(小P)
- 確かに、男の子がスカートを制服に選ぶのはハードルが高い。制服検討委員会でも意見が出た。なぜはけないのか、誰がそうさせているのかということも含め全校生徒で話し合いを重ねている。認め合える、誰もが安心して自分らしく生活できる学校にしていきたい。(中教)
- 自分の個性を出せる学校って楽しいと思う。もし、近所の人何か言ってきたらどうする？となっても、またそれも子どもたちと学んでいける。制服改定に携われていることがうれしいし、新鮮である。みんながよりよい学校生活を送れるように準備したい。(中教)
- 選択肢がいっぱいとれるというのが大事。それぞれがアイテムを自分好みにできるのもいいのではと思う。そう考えると、先ほど言われた、制服をなくすというのも一つの選択肢ではないかと思う。教育と並行して、制服改定も進めていけたら、うまくいくのではないか。多様性を認められるようにするから、変えていくという形で。教員の取組や、教育委員会の取組も報告していったらいいのではないか。(小P)
- 基盤は多様性になるが、考えていくと、防寒対策や機能性なども付け加えられていく。実際に改定を行っている学校の情報も参考にする。将来的には私服になると思うが、段階を踏み、TPOも教えるということも含めて、現時点では制服改定を行う。(中教)

(4) PTA会長挨拶

今日はありがとうございました。何年か前の土居中はひどかった。しかし、今は、生徒、先生、保護者が一体となって活動できている。子どもたちの笑顔が学校の明るい雰囲気を作る。僕も「土居中魂」を背負って活動している。これから、成長していく子どもたちが生き生きと活動できる土居にしていきたい。みんなで一つになって、土居を盛り上げていきながら、子どもたちを見守っていきたく思っている。今後ともよろしくお願い致します。